

(様式4)

平成22年度における「がん対策」に関する具体的な事業一覧

都道府県名 岡山県

(1) 放射線療法及び化学療法の推進並びにこれらを専門的に行う医師等の育成

事業名	事業内容	国庫補助の有無	21年度予算額	22年度予算額	実施主体
			千円	千円	

(2) 治療の初期段階からの緩和ケアの実施

事業名	事業内容	国庫補助の有無	21年度予算額	22年度予算額	実施主体
緩和ケア推進事業	国指針に基づく緩和ケア研修会	都道府県がん対策重点推進事業 (厚生労働省健康局)	1,367千円	1,387千円	岡山県医師会

(3) がん登録の推進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	21年度予算額	22年度予算額	実施主体
生活習慣病登録・評価事業	(1) 地域がん登録事業	無	12,971千円	12,857千円	岡山県医師会
	(2) がん精密検診結果の収集・分析	都道府県がん対策重点推進事業 (厚生労働省健康局)	7,457千円	7,944千円	岡山県医師会
	(3) 生活習慣病登録・評価等対策検討会議	メタボリックシンドローム予防戦略事業 (厚生労働省健康局)	0千円	411千円	県

(4) がん予防・早期発見の推進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	21年度予算額	22年度予算額	実施主体
乳がん子宮がん検診受診促進事業	(1)岡山県がん予防ネットワーク事業 (2)受けようマンモグラフィ検診キャンペーン	無	1,226千円	1,120千円	県
生活習慣病検診等管理指導協議会	がん検診の実施方法や精度管理のあり方等について専門的な見地から指導を行い、がん対策の推進を図る。	無	961千円	897千円	県
岡山在宅医療推進のための実地研修事業	がん検診の従事者を対象にした研修会	無	1,366千円	1,421千円	岡山県医師会
がん征圧大会岡山県大会	表彰、対がん基金研究助成金贈呈 シンポジウム「受けて安心がん検診～乳がん～」	無	97千円	78千円	岡山県健康づくり財団、岡山県医師会、県

(5) がん医療に関する相談支援及び情報提供

事業名	事業内容	国庫補助の有無	21年度予算額	22年度予算額	実施主体
がん患者のQOL維持向上支援事業	がん患者QOL企画・評価委員会 (2)がんサロンの開催	都道府県がん対策重点推進事業 (厚生労働省健康局)	0千円	2,201千円	岡山県健康づくり財団

(6) がん医療水準均てん化の促進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	21年度予算額	22年度予算額	実施主体
がん診療連携拠点病院機能強化事業	県民がどこに住んでいても質が高く安心して療養ができるようがん医療の提供体制の整備を行う。	がん診療連携拠点病院機能強化事業 (厚生労働省健康局)	45,000千円	45,000千円	岡山済生会総合病院 岡山赤十字病院 倉敷中央病院 津山中央病院 川崎医科大学附属病院

(7) がんに関する研究の推進

事業名	事業内容	国庫補助の有無	21年度予算額	22年度予算額	実施主体
			千円	千円	

(8) その他

事業名	事業内容	国庫補助の有無	21年度予算額	22年度予算額	実施主体
がん診療施設設備整備事業	がんの診断・治療を行う医療施設に対して、がんの臨床検査機器等の整備を行う。	がん診療施設整備事業 (厚生労働省医政局)	4,155千円	42,000千円	岡山赤十字病院 岡山済生会総合病院 倉敷中央病院 津山中央病院
「がん対策」予算合計			74,503千円	113,817千円	

(自由記載)

都道府県における取組の詳細について

都道府県名 岡山県

予算額だけでは見えてこない各都道府県独自の特色ある取組の内容を、忌憚なくご記載ください。

- 岡山県では、「地域がん登録」を岡山県医師会に委託して実施しており、医師会から県内の医療機関への働きかけにより、医療機関から、がん登録についての協力・連携体制が構築され、がん登録を行っている。また、地域がん登録の精度は高く、罹患数や罹患率、生存率、受療状況等をまとめて、毎年、「岡山県におけるがん登録」の冊子を刊行し、がん予防・がん医療の向上の礎となっている。
- 乳がん検診について、岡山県乳がん検診指針を県独自に定め、市町村が実施する乳がん検診について、80歳以上の女性に年1回の検診を勧めている。(検診の内容は、30歳代は問診と視触診、40歳以上は問診・視触診、マンモグラフィ) この検診の体制、受診勧奨により、乳がん死亡率は全国平均より低くなっている。
また、乳がん・子宮がん検診受診促進事業として、乳がん月間において、愛育委員等、地区組織と協働して、街頭での普及啓発を行っている。
- 岡山県が主体となり、年1回、「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」(厚生労働省の開催指針に基づく)を実施している。国のがん対策推進基本計画において、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得すること」という目標を踏まえ、治療の初期段階から緩和ケアが提供されることを目指している。
また、緩和ケアについて、介護支援専門員(ケアマネージャー)の研修会の中にも取り入れ、人材育成に努めている。

- がん予防の取り組みとして、たばこ対策について、県では、「がん対策推進計画」と「健康おかやま21」と両方で取り上げ、県独自に「禁煙・完全分煙実施施設認定事業」を展開している。事業内容は、未成年者などを対象にした啓発、禁煙問題に関する講演会等への講師派遣を行っている。
- 岡山県がん対策推進計画の中で、がん患者・家族への支援として、がん患者が住み慣れた地域や家庭で療養でき、自分らしく生活できることを目指しており、がん診療連携拠点病院と連携して、相談体制の充実や患者会活動等が活発になるよう支援している。
特に今年度から、「がん患者QOL維持向上支援事業」（新規）に取り組んでいる。
- 「健康おかやま21協賛事業（がん対策協賛事業）」として、地域で活動を行っている各種団体や学校、企業が行う事業で、健康づくりの目的に沿って実施される協賛事業を募集し、認定をしている。
- 県内のがんに関する情報を総合的に提供するホームページ（「岡山がんサポート情報」）を開設し、がん検診等の情報を提供するとともに、がん診療連携拠点病院が行う公開講座、県が後援を行った講演会等の情報提供、メールマガジンの配信等を実施している。
- 岡山県医師会等との共催により、がん予防に関する正しい知識の普及と、より積極的な対がん運動を県民全体で推進するために、「がん征圧岡山県大会」を開催している。